令和６年度第１回

国土交通省大臣官房官庁営繕部コンプライアンス・アドバイザリー委員会

議事概要

開催日及び場所	令和６年７月２３日（火）Ｗｅｂ開催
出席委員	委　員　長　田辺　新一　（早稲田大学理工学術院創造理工学部建築学科教授） 委員長代理　岩島　秀樹　（大地法律事務所　弁護士） 委　　員　浦江　真人　（東洋大学理工学部建築学科教授） 大野 由香子　（慶應義塾大学商学部教授） 丹羽　秀夫　（公認会計士　税理士）
議題	令和５年度国土交通省大臣官房官庁営繕部コンプライアンス推進計画実施状況評価報告書について

委員からの主な意見

昨今の不調不落による業務執行の遅れが職員へのプレッシャーとなり、これがコンプライアンスの問題につながるようなことにならないよう、職員のケアなどに留意することが必要だと考える。

例えば他機関で指名停止につながった不適正事案を参考として情報共有するなど、コンプライアンスを確保する仕組みの中で活用することも考えられる。

情報セキュリティ管理に関しては、アクセス許可の対象となる情報の範囲、対象者を明確にしておくことが大切だと考える。それによって、責任意識をもって管理を徹底することにつながると考える。

質疑等

委員からの質問等	回答
テレワークのメリットとデメリットをどのように考えているか。	メリットとしては、通勤時間の削減、育児・介護との両立などのワーク・ライフ・バランスの確保における効果が考えられる。 デメリットとしては、紙でしか保存されていない資料があり、これについてネットワーク上では閲覧できないなどの課題がある。
データへのアクセス制限に関しては、アクセス許可が与えられる対象者も整理されているのか。	発注手続きの段階ごとに、アクセス許可を与える対象者を明確に定めており、その者だけがアクセス可能となるよう、データへのアクセス権限を設定している。